

令和元年度第17回

斎藤茂吉ジュニア短歌コンクール選考結果について（各賞のお知らせ）

令和元年度第17回斎藤茂吉ジュニア短歌コンクールには、山形県内はもとより県外・海外からも多数応募があり、小学校46校・2087首、中学校41校・2859首、高等学校47校・4203首、合計134校・9149首の作品が寄せられました。その全応募作品を対象に、第1次選考（入選200首）、第2次選考（優秀賞48首）、さらにこのたび（2月18日）、選考委員の大瀧保・栗木京子・坂井修一の3氏による最終選考会が開かれ、小・中・高校の各部門2首・計6首の最優秀賞（作品）が左記のとおり決定いたしました。

なお、最優秀賞の表彰式は、令和2年5月17日（日）開催の第46回斎藤茂吉記念全国大会の席上にて執り行います。また、最優秀作品・優秀作品を含む全入選作品を収めた「令和元年度第17回斎藤茂吉ジュニア短歌コンクール入選作品集」は、本年3月15日の発行を予定しております。

主催 山形県・上山市・上山市教育委員会・公益財団法人斎藤茂吉記念館
お問合せ先 公益財団法人斎藤茂吉記念館

〒999-3101 山形県上山市北町字弁天1421

Tel 023-672-7227

Fax 023-672-2626

令和元年度第17回斎藤茂吉ジュニア短歌コンクール 最優秀作品（全六首）

【小学校の部】二首

こぼれそう手にいっぱいのしろくろむちゆうでとったひまわりのたね

山形市立蔵王第二小学校

一年 吉村 凜音

心こめ工場そうじ父さんとおいしいまんじゅうここで作るよ

上山市立南小学校

三年 金子 一真

【中学校の部】二首

将棋盤かかえて向かう冬休み挑む相手は飛車落ちの祖父

山形県立東桜学館中学校

一年 松本 諒哉

教室で気になる君と二人きり君にとってはひとりの時間

仙台市立郡山中学校

二年 高橋 美海

【高等学校の部】二首

蔵王山やせる樹氷に考える大きな地球小さな私

山形県立山形西高等学校

一年 青木 杏

朝霧に電車遅延のアナウンス生きてて欲しい猛進イノシシ

山形県立東桜学館高等学校

二年 遠藤 真理

優秀作品 (全四十八首)

【小学校の部】九首

こぼれそう手にいっばいのしろとくろむちゆうでとつたひまわりのたね

山形市立蔵王第二小学校

一年 吉村 凜音 よしむら りおん

仙台で水ぞく館に行ったんだイワシがみんなでボールになった

上市市立上山小学校

四年 本田 樹里 ほんだ じゅり

だいこんぬきいしづか先生力もち一ばんさいしよにぬかれちやつたよ

上市市立西郷第一小学校

一年 秋葉 琉生 あきは るい

人生で初めてイカをさばいたら体の中は人とにていた

上市市立中川小学校

五年 小関 潮音 こせき しおね

心こめ工場そうじ父さんとおいしいまんじゅうここで作るよ

上市市立南小学校

三年 金子 一真 かねこ かずま

ホウセンカつぎつぎ本葉出てきたよサンバの羽がおどるようだよ

三年 小池 葉露 こいけ はろ

新庄市立沼田小学校

五年 佐藤 汐南 さとう ゆうな

雪の道こぶしの冬芽に声かける春までがんばれかわいいいしっぽ

米沢市立三沢西部小学校

三年 庄司 光 しょうじ こう

大こんポンスポツとぬけたまつ白だぼくのうでより大きかったよ

郡上市立大和北小学校

二年 安江 蓮都 やすえ れんと

【中学校の部】十五首

カチカチのバストロンポーン手に持った今年もよろしく私の相棒

上市市立南中学校

二年 五十嵐 万葉佳 いがらし まなか

寝る赤子頬に触れば懐かしい十二年前の弟の顔

上市市立北中学校

三年 武田 実祈 たけだ みのり

書きこめば期待や夢がおしよせて黒ペンすすむ進路希望書

三年 羽原 瑠菜 はばら るな

東根市立神町中学校

三年 八島 優斗 やしま ゆうと

鶴岡市立鶴岡第一中学校

二年 丸山 彰太 まるやま しょうた

将棋盤かかえて向かう冬休み挑む相手は飛車落ちの祖父

山形県立東桜学館中学校

一年 松本 諒哉 まつもと りょうや

高台にのぼると見える沖繩のまちにまぎれる米軍の町

岩手県立一関第一高等学校附属中学校

三年 佐藤 亜琉 さとう ある

仙台市立郡山中学校

二年 近藤 ちよ こんどう ちよ

サッカーをしている君が好きだよと前言撤回全部好きだよ

二年 齋 未玲 さい みれい

手のひらに収まる小さな端末に縛られている僕らの暮らし

二年 鈴木 蓮火 すずき れんか

掃除中屋根裏部屋を見てみると缶詰詰まった母の青春

二年 高橋 司 たかはし つかさ

教室で気になる君と二人きり君にとってはひとりの時間

二年 高橋 美海 たかはし みう

公園で犬と走るよザクザクと霜を踏む音ああ冬休み
スーパーで買い物しながら指凍るお釣りの硬貨のあつたかいこと

あの人の意外なところ知っちゃったああやめられない人間観察

【高等学校の部】二十四首

蔵王山やせる樹氷に考える大きな地球小さな私

「よいやーはー！」掛け声響く紅の里少年達は祭りへ駆ける

校庭で煙を吸った制服の香りとともに食べる焼き芋

これからを迷いつづけてもう3年厳しい方へ進むと決めた

寒いねと吐く息白く冬の釣り友と夜まで競い合いながら

朝霧に電車遅延のアナウンス生きてて欲しい猛進イノシシ

寒いねと隣を歩く君の声今年も町にあの冬がくる

電気工事毎日工具握りしめ少し握力付いた気がする

雪下の葱を掘り出すスコップは祖母の右手の跡残ってる

ピチカート優しい響きの代償に痛みを残す指先は恋

寝ぐせある後ろ髪など気にせずに例題解いてる君は憧れ

弧を描きネットにシュート入る時異次元になるバスケのコート

大晦日電気保守する父さんの健康願う横越神社

兄ちゃんが帰省した日の食卓は料理も会話も御馳走になる

八月の終わりに父と割った薪今冬が来て部屋暖める

祖母ちゃんが新潟弁を使うときタイムマシンは昭和迄行く

コンバイン操作手順の書き込みは祖父のマジック青色の文字

帰宅して二合の米を研いで炊く八時に帰る母に合わせて

大雪で母の帰りを待ちながら雪かきをするなぜか温か

民泊のマンゴーハウスで話してたうちなーぐちの意味を問う我

冬の朝曇りガラスを丸く拭くおとぎ話の入口となる

二年かけ手入れし伸ばし断髪す寄付の向こうの笑顔祈りつつ

インスタで雪降る街を掲げてみたスマホ越しに届け君へのダイスキ

空席がやけに気になる汽車の中君の隣はまだ空いたまま

学習院女子中等科

二年 亀井 美咲 かめい みさき

三年 櫻田 優実 さくらだ ゆみ

静岡雙葉中学校

二年 池田 愛花 いけだ あいか

山形県立山形西高等学校

一年 青木 杏 あおき あん

二年 秋場 舞 あきば まい

山形県立上山明新館高等学校

二年 松橋 怜也 まつはし れいや

三年 工藤 悠可 くどう ゆうか

山形県立寒河江工業高等学校

三年 和田 圭司 わだ けいじ

山形県立東桜学館高等学校

二年 遠藤 真理 えんどう まり

山形県立南陽高等学校

一年 高瀬 結衣 たかせ ゆい

岩手県立盛岡工業高等学校

一年 市村 拓都 いちむら たくと

東京学館新潟高等学校

一年 五十嵐 未都希 いからし みづき

一年 大津 優果 おおつ ゆうか

一年 木村 まり杏 きむら まりあ

一年 中野 湧斗 なかの ゆうと

一年 永田 竜馬 ながた りょうま

一年 南部 輝 なんぶ ひかる

一年 樋口 翔馬 ひぐち しょうま

一年 伏見 千畝 ふしみ ちうね

一年 松田 海優 まつだ みゆう

一年 柳澤 勇翔 やなぎさわ ゆうと

二年 佐藤 亜海 さとう あみ

新潟県立加茂農林高等学校

二年 伊藤 駿介 いたう しゅんすけ

東京都立足立高等学校

一年 勝田 彩音 かつた あやね

学習院女子高等科

一年 石川 李津 いしかわ りづ

徳島県立脇町高等学校

二年 岡本 奈々 おかもと なな

二年 住友 千紘 すみとも ちひろ

入選作品 (全二〇〇首)

【小学校の部】四十四首

手ばなしではやくのりたいたいちりんしゃさくらの木まであともうすこし
 こぼれそう手にいっぱいのしろとくろむちゆうでとったひまわりのたね
 みちのはじっこねずみしんでたかわいそうしんぱいしてるよねずみのかあさん
 歩きたいそれでも走る上り坂新記録までちぢめ四秒
 キーパーだ相手にシュートを入れさせない足のうごきから目をはなさない

山形市立蔵王第二小学校

一年 鈴木 実侑 すすき みゆ
 一年 吉村 凜音 よしむら りおん
 二年 志鎌 叶汰 しかま かなた
 三年 斯波 直希 しば なおき
 四年 荒井 遥真 あらい はるま

山形市立南山形小学校

太陽がきらきら光るいねの先大きくなったな小さな苗が
 稲刈りで腰を曲げれば稲の穂が顔をつんつくすぐったいな
 稲のたば一株一株刈っていく手がかゆくなる汗がふき出る
 晴れた日に水とう持って稲刈りにさらさらと鳴る実りの音色

五年 大場 悠希 おおば はるき
 五年 高橋 太椰 たかはし たいな
 五年 箭柏 拓真 やがしわ たくま
 五年 八畷 希姫 やくわ きい

上市市立上山小学校

まつしまでゆうらんせんにのったんだしまもいっぱい鳥もいっぱい
 仙台で水ぞく館に行ったんだイワシがみんなでボールになった
 書き初めて生きる力を書いたんだ「る」がかすれてむずかしかった
 発表会大きな声と身ぶりでね見ている人に全て伝える
 九十さいこえたばばちゃんあはははと元気な声が家中ひびく

二年 齋藤 暖仁 さいとう はるひと
 四年 本田 樹里 ほんだ じゆり
 四年 渡邊 亜莉紗 わたなべ ありさ
 五年 安部 結里加 あべ ゆりか
 六年 鈴木 杏菜 すずき あんな

上市市立西郷第一小学校

だいこんぬきいしづか先生力もち一ばんさいしよにぬかれちやったよ
 ほうちようをはじめてつかったむずかしいもがかたいよちからをいれた

一年 秋葉 琉生 あきは るい
 一年 木村 虹心 きむら にこ

上市市立中川小学校

人生で初めてイカをさばいたら体の中は人とにていた

五年 小関 潮音 こせき しおね

上市市立南小学校

ゆきあそびまとあてをしてあそんだよがつめたいなまつかつかだな
 ふるさとのざおうの山はころもがえきせつにあつたいしようがにあらう
 心こめ工場そうじ父さんとおいしいまんじゅうここで作るよ
 おばあちゃんいっしょにとまったあの日はねいっしょう心にのこしてるんだ
 ホウセンカつぎつぎ本葉出てきたよサンバの羽がおどるようだよ
 土の中ギラファノコギリクワガタの白いさなぎがくねくね動く
 南小祭終わって五つのたいこたちしんとしている階だんの下
 けんどうのしあいでかててうれしいな6ねんせいのことてをうったよ
 雪がないせつかく買った長ぐつが出番がなくて足ぶみしてる
 ピーターパンのまほうのこながかかっている木いっぱいのイルミネーション
 年賀状思いをこめてゆつくりと一人一人に「令和」の字かく

二年 男鹿 幸輝 おじか こうき
 二年 須田 実裕菜 すだ みゆな
 三年 金子 一真 かねこ かずま
 三年 川口 莉子 かわぐち りこ
 三年 小池 葉露 こいけ はる
 三年 佐藤 理史 さとう まさふみ
 三年 武田 羽心 たけだ うた
 三年 新野 友仁 にいの ゆうと
 三年 吉田 大知 よしだ たいち
 四年 森谷 春歩 もりや はる
 六年 丁子 有 ちようじ ゆう

上市市立宮川小学校

はつ日の出海もくももきらきらだすんだ空気がわたしをつつむ
 さんぼ道さむさの中でさいているたんぼぼほしがる妹の手よ
 えつつしぎ覚えたてのマジックでみんながぼくをすごいとほめた

二年 浅野 晴奏 あさの はな
 二年 木村 沙妃 きむら さき
 四年 渡辺 桐也 わたなべ とうや

新庄市立沼田小学校

一枚の水鳥の羽ゆかに散り勝負を分けたスマッシュ一本
 としのせにわらいこらえてそばすすりあねといっしょにパプリカおどる

五年 佐藤 汐南 さとう ゆうな
 五年 杉沼 心音 すぎぬま ここね

米沢市立三沢西部小学校

雪の道こぶしの冬芽に声かける春までがんばれかわいいしっば

三年 庄司 光 しょうじ こう

鶴岡市立京田小学校

風がふき粉雪がまう冬の朝きみのすがたがまばゆく光る
 田植えから稲刈りまでの一苦労笑顔あふれる魔法のお米

五年 小野寺 奏夢 おのでら かのん
 五年 齋藤 諒 さいとう りよう

酒田市立新堀小学校

花束をかかえて歩く春の道在校生のアーチをくぐる

六年 奥山 千依 おくやま ちより

自転車でとんぼといっしょに走るんだ私も自由に夕日の方へ
逆上がりできて見上げた夜空から「おめでとう」とかすかに聞こえた

大こんボンスポツとぬけたまっ白だぼくのうでより大きかったよ
指揮台へ一番の自信もって立ちビシツと手を挙げバシツときめる

みつけたよからすのはねをみつけたよしろとくろだようんどうじようで
コロコロとタイヤをこぐよ一輪車銀河の道を走ってるみたい

なきながらつらい練習のりこえたコンクールでの一位でえ顔

【中学校の部】六十四首

よく来たな祖父の笑顔に迎えられまた来るからねと手を振るあの日

ロープウェイ見下ろす景色きれいだな赤に染まった蔵王温泉

初めてのアンサンブルの発表会4人みんなで音を合わせる
冬休み千葉でたくさんお買い物新しい年新しい物

元日にうなり出す音三吉山になんだと思えば鐘の音だった
ラケット変え心機一転力込め始めの一点ドライブかけて
カチカチのバストロンボン手に持った今年もよろしく私の相棒

最後まで声を出しきり結果待つ両軍の視線得点板へ

誰よりも一番声を出しつづけ気配りできるキャプテンになる
よってきたな奥から聞こえる祖母の声あと何年間聞けるだろうか
入学時大き過ぎた学ランも今ではすが足りないくらい
ラグビーをテレビの前で応援し我が家も一丸ONETEM
寝る赤子頬に触れば懐かしい十二年前の弟の顔
書きこめば期待や夢がおしよせて黒ペンすすむ進路希望書

満月になつかしき顔思い出すひいばあちゃんの優しい笑顔

天高し縹雲散る秋の空松のこも巻き冬の足音

父のあと追いつつ下る山道に木の葉洩る陽のかすかにさせり
炊飯器開けてびっくり栗ご飯今日も一日がんばれそうだ

中華街大きな肉まんほおぼって家族全員幸せ笑顔

武道場投げつけられる真冬日に痛い体と冷たい足裏

本番に緊張が増しはやくなるまるで心のメトロノームだ

「自信持て」仲間がいったそのことば自信を持てた魔法の言葉
大会でナイスシュートを決めたとき勝利も決めた笑顔が浮かぶ
太陽に目を細めつつサブするその一本が勝利への道
田んぼ道猛ダッシュして走りぬくふとふりむくとかがやく稲穂
指はなす一本の矢がとどくまで僕の中ではスローモーション

母よりも大きくなった僕の手を見つめる母のまなざし優しく
君とみたあの日の晩の満月も今は一人見る駅のホームで

ばあちゃんが夏休みから準備した愛情いっぱい手作りじんだん

石巻市立蛇田小学校

六年 西村 結奈 にしむら ゆな
六年 三浦 彩楓 みうら あやか

郡上市立大和北小学校

二年 安江 蓮都 やすえ れんと
六年 河合 史穂 かわあい しおん

郡上市立大和第一北小学校

一年 武藤 新空 むとう にあ
五年 中山 耕輔 なかやま こうすけ

チューリツヒ日本人学校補習校

五年 キームサロメ麗湖 きいむさろめれいこ

山形市立第七中学校

一年 管 風歌 かん ふうか

山形市立蔵王第二中学校

一年 長岡 栞音 ながおか かのん

上市市立南中学校

一年 壹岐 彩乃 いき あやの
一年 伊藤 優月 いとう ゆづき
一年 清水 優希 しみず ゆうき
一年 新野 眞央 にいの まお
二年 五十嵐 万菜佳 いがらし まなか

上市市立北中学校

一年 小関 麻椰 こせき まや
二年 木村 紗希 きむら さき
三年 大坂 琉 おおさか りゆう
三年 川合 光洋 かわい こうよう
三年 竹内 幾音 たけうち いくと
三年 武田 実祈 たけだ みのり
三年 羽原 瑠菜 はばら るな

朝日町立朝日中学校

二年 松尾 神那 まつお かなな

東根市立神町中学校

三年 加藤 日和 かとう ひより
三年 竹屋 李杏 たけや りきよう
三年 八島 優斗 やしま ゆうと

米沢市立第二中学校

二年 小山 飛旺来 こやま ひおら

米沢市立第四中学校

二年 後藤 李空 ごとう りく

鶴岡市立鶴岡第一中学校

二年 佐藤 涼香 さとう すずか
二年 佐藤 遥 さとう はるか
二年 土岐 来空 とぎ らいく
二年 難波 彩香 なんば あやか
二年 松本 七星 まつもと ななせ
二年 丸山 彰太 まるやま しょうた

庄内町立余目中学校

二年 池田 陽 いけだ ひなた
二年 齋藤 菜緒 さいとう なお

山形県立東桜学館中学校

一年 庄司 里桜 しょうじ りお

四年後に帰る約束最上川幼魚を包みて運べ冬海へ
将棋盤かかえて向かう冬休み挑む相手は飛車落ちの祖父

高台にのぼると見える沖繩のまちにまぎれる米軍の町

寒い中武道館での稽古後に面取る部員の頭には湯気
サッカーをしている君が好きだよと前言撤回全部好きだよ
手のひらに収まる小さな端末に縛られている僕らの暮らし
数億年ゆつくりつくるクジヤク石数秒前は動いていたか
ダンボール箱いっぱい土と葱家に入れれば畑の匂い
掃除中屋根裏部屋を見てみると缶に詰まった母の青春
教室で気になる君と二人きり君にとってはひとりの時間
ナメクジと競争しても負けるほど重い何かを背負って立っている
ため息を思わずついたそんな日は明るい空気いっぱい吸いこむ

夕焼けの校舎を背にする帰り道友の横顔話は尽きず
暑い中ひたすらボールを追いかけて最後の力で放ったシュート

初詣足裏凍る帰り道あたたかいは祖母とつなぐ手
掘炬燵一度入ると抜け出せないどうやら猫も同じらしい
大そうじ去年は届かぬ窓の上足台なしで拭ける喜び
公園でふと息つけば白い色冬を見つけてうれしくなった
通学路いつもの梅の木見上げると枯葉の裏に見慣れぬ小鳥
公園で犬と走るよザクザクと霜を踏む音ああ冬休み
祖母の編むマフラーどどん伸びていき毛糸の玉はどどん減って
書き初めの筆の穂先は明日へと今年の希望と目標のせて
指を折り鐘の百八数えてる弟たちの吐く息しろい
チクチクと寒さが刺さるわが頬を弟包む小さな両手
午前五時すんだ冷気をすいこんで道場ゆらすあいさつの声
スパーで買い物しながら指凍るお釣りの硬貨のあったかいこと
祖母の家お母さんよと呼ぶ声で子供に戻る父と母かな
冬の暮ふたつに分けた肉まんをふたりで食べる小さな幸せ

あの人の意外なところ知っちゃったああやめられない人間観察
「七時十三分発の2番線」新緑に薫る希望と鬱と

祖父がうつ年越のそば一年の良いスタートが切れる気がする

あきらめないドロップショット打たれても届かんボールは絶対ないから
金賞と言われた瞬間会場の色変わるのは気のせいだろうか

兄ちゃんとおつかい行った帰り道そつと歩幅を合わせてくれた

赤色の百個の鳥居とおつても終わりがみえずまだまだ続く

【高等学校の部】九十二首

蔵王山やせる樹氷に考える大きな地球小さな私
「次こそは」胸に秘めてる熱い想い君のおかげで強くなれる
思い出のあの日の惜敗身にしみる北風にのれこの向上心
キラキラとまつげの上に雪ひとつ積もるといいなとはにかむ妹
「よいやーはー！」掛け声響く紅の里少年達は祭りへ駆ける
鍋囲み親から子へと伝わるは雪国だけの七草の味
鮮やかな紅花染めのハンカチは祖父と私の思い出の品

山形県立東桜学館中学校

一年 原田 未森 はらだ みもり
一年 松本 諒哉 まつもと りょうや

岩手県立一関第一高等学校附属中学校

三年 佐藤 亜琉 さとう ある

仙台市立郡山中学校

二年 明日 彩華 あけひ あやか
二年 近藤 ちよ こんどう ちよ
二年 齋 未玲 さい みれい
二年 杉本 香世 すぎもと かよ
二年 鈴木 蓮火 すぎき れんか
二年 高橋 司 たかはし つかさ
二年 高橋 美海 たかはし みう
二年 林 快杜 はやし かいと
二年 古内 春有 ふるうち はるあ

荒川区立尾久八幡中学校

二年 矢島 梨帆 やじま りほ
二年 山本 遙人 やまもと はると

学習院女子中等科

一年 大上 夏希 おおがみ なつき
一年 齊藤 可奈子 さいとう かなこ
一年 佐藤 瑚乃佳 さとう このか
一年 仙石 光 せんごく ひかり
一年 林 枝莉花 はやし えりか
二年 亀井 美咲 かめい みさき
二年 小林 花 こばやし はな
二年 篠田 まなか しのだ まなか
二年 安田 有未乃 やすだ ゆみの
三年 石井 珠希 いしい たまき
三年 栗林 華 くりばやし あき
三年 櫻田 優実 さくらだ ゆみ
三年 楽々 華子 ささ はなこ
三年 夏川 陽菜 なつかわ ひな

静岡雙葉中学校

二年 池田 愛花 いけだ あいか
二年 間宮 光里 まみや ひかり

勝山市立勝山北部中学校

二年 宇佐美 汐里 うさみ しおり

八尾市立久宝寺中学校

二年 井上 万緒 いのうえ まお
二年 西 美裕子 にし みゆこ

大村市立郡中学校

二年 戸島 菜月 としま なつき

熊本市立飽田中学校

二年 熊埜御堂 花音 くまのみどう かのん

山形県立山形西高等学校

一年 青木 杏 あおき あん
一年 中島 心華 なかじま こはな
一年 増川 綾 ますかわ あや
一年 吉田 朱里 よしだ あかり
二年 秋場 舞 あきば まい
二年 大谷 明日香 おおや あすか
二年 奥山 紗也佳 おくやま さやか

行く道が冬の訪れ伝達す軒端に垂れる橙のれん
ばあちゃんの使う方言戸惑うもこだけで聞く「めんこい」の声
「何も無い。」離れて気づくあたたかさ人も自然も私を包む
ペダル漕ぎかじかむ指をなでながら蔵王を見れば今日がはじまる

二人きりつながらない手すきま風君のひとみに私はいない
いつの日も始発に乗ってるあの人はどんな一日送っているのか
部活動琴ひくたびに爪割れてそれにもたえて弾ききりたいな
校庭で煙を吸った制服の香りとともに食べる焼き芋

せんべいを片手に持って歩いたら目の色変えて僕を追う鹿
これからは未来に向かって進んでく飛べない空などあるはずがない
これからを迷いつづけてもう3年厳しい方へ進むと決めた
冬にこそ食べるアイスが美味しいの寒くなるけどこたつが味方

皆して太陽向いてるひまわりに上だけ見ようと言われた気がした
初雪がうつつすらつもる月山と白髪を増えた父の姿と

雨降りし日に傘を忘れたプリーテンダー濡れる肩と触れる肩

寒いねと吐く息白く冬の釣り友と夜まで競い合いながら

「ちはやぶる」みなの手のびる「札ふただ」に上がる歓声落胆の声
母からの「いつてらっしゃい」その言葉で私はいつも頑張ってるよ
今日の月こんなに眩く光るのは誰にみつけて欲しいからなの
晴れわたる蔵王の坂を友と行きついた先にはきれいなお釜
寒雲の下信号待ちでかじかむ手不意に届いた彼女のおはよう
朝霧に電車遅延のアナウンス生きてて欲しい猛進イノシシ
あと十分乱れるペンと飛ぶ意識ここから長い午後の一コマ

汗流し夢の舞台まであと一戦仲間の声援胸にコートへ
寒いねと隣を歩く君の声今年も町にあの冬がくる
毎日の送り迎えをしてくれる母に感謝を伝えたい

崩れゆく鏡の中の口紅を筆とともに拭う晴れぬ日
春雨に濡れて散りゆく花びらのなお艶やかに光る命よ

わかったよ問題を見てほっとしたすらすら打つよパーキンスを

電気工事毎日工具握りしめ少し握力付いた気がする

雪下の葱を掘り出すスコップは祖母の右手の跡残ってる
宝くじ父さんが置く仏壇に僕の願いも置いていいかな？

6連符窓が鏡に変わる頃みんなの音が1つに響く
十五夜の安田祭りの押し合いは祖父から続く男の祭り
ピチカート優しい響きの代償に痛みを残す指先は恋
祖母ばあちゃんがスマホに挑戦始めてる私は何に挑戦しようか？
異空間SNSのデジタルが音もたてずに心を揺らす

寝ぐせある後ろ髪など気にせずに例題解いてる君は憧れ
学校の自転車小屋で君を待つ声かけようか銀の自転車
試験中夢の続きを見る僕にタバスコみたい母は厳しい
ゆつくりと静かに始まる恋のうた「待ってました」得意札取る

湯気立てて祖母が育てた枝豆が夏のエールを家族にくれる
祖父じいちゃんにもらった穴ある手袋を雪かきする時祖母はつけてる
水滴が流れる程の冬の日のビニールハウスの野球部練習

野球部の寮生活にも慣れたけど帰省する日に印つけてる
弧を描きネットにシュート入る時異次元になるバスケのコート

山形県立山形西高等学校

二年 木村 綾乃 きむら あやの
二年 庄司 薫 しょうじ かおる
二年 菅原 日奈子 すがはら ひなこ
二年 大和 佳奈 やまと かな

山形県立上山明新館高等学校

二年 小埜 七瀬 おの ななせ
二年 高橋 賢司 たかはし けんじ
二年 松田 ゆずか まつだ ゆずか
二年 松橋 怜也 まつはし れいや
二年 渡部 大陸 わたなべ りく
三年 鏡 太志 かがみ たいし
三年 工藤 悠可 くどう ゆうか
三年 今野 瑠菜 こんの るな

山形県立山辺高等学校

三年 鈴木 月菜 すずき るな
三年 横尾 花菜 よこお はな

山形県立寒河江高等学校

一年 市川 万葉 いちかわ かずは

山形県立寒河江工業高等学校

三年 和田 圭司 わだ けいじ

山形県立東桜学館高等学校

一年 浦山 萌夏 うらやま もか
一年 大崎 晴 おおさき はる
一年 大類 環 おおるい たまき
一年 横川 唯 よこかわ ゆい
二年 井上 佑成 いのうえ ゆうせい
二年 遠藤 真理 えんどう まり
二年 工藤 心太 くどう しんた

山形県立南陽高等学校

一年 笹 知遠 ささ ちはる
一年 高瀬 結衣 たかせ ゆい
一年 高橋 妃奈 たかはし ひな

山形県立酒田光陵高等学校

一年 西形 あすみ にしかた あすみ
二年 佐野 円香 さの まどか

山形県立山形盲学校

三年 田中 愛乃音 たなか あのん

岩手県立盛岡工業高等学校

一年 市村 拓都 いちむら たくと

東京学館新潟高等学校

一年 五十嵐 未都希 いからし みづき
一年 石山 隼 いしやま しゅん
一年 伊藤 みつき いとう みつき
一年 上松 杏 うえまつ あん
一年 大津 優果 おおつ ゆうか
一年 川崎 ひかり かわさき ひかり
一年 木下 直也 きのした なおや
一年 木村 まり杏 きむら まりあ
一年 佐藤 文哉 さとう ふみや
一年 塩原 麻希 しおばら まき
一年 白倉 麻衣 しらくら まい
一年 関根 花音 せきね かのん
一年 高柳 奏大 たかやなぎ かんた
一年 田屋 知則 たや ともり
一年 中野 湧斗 なかの ゆうと

大晦日電氣保守する父さんの健康願う横越神社
 兄ちゃんが帰省した日の食卓は料理も会話も御馳走になる
 雪かきで冷えた身体に母さんのミルク多めのココアが香る
 八月の終わりに父と割った薪今冬が来て部屋暖める
 祖母ちゃんが新潟弁を使うときタイムマシンは昭和迄行く
 コンバイン操作手順の書き込みは祖父のマジック青色の文字
 祖母ちゃんがチェーンに油をさしていた通学自転車スピードを出す
 帰宅して二合の米を研いで炊く八時に帰る母に合わせて
 週6日6時に僕の名前呼ぶ母さんオペラ歌えばいいのに
 大雪で母の帰りを待ちながら雪かきをするなぜか温か
 暖かな夏の田んぼに映るのは高く空飛ぶトキの赤色

民泊のマンゴーハウスで話してたうちなーぐちの意味を問う我

冬の朝曇りガラスを丸く拭くおとぎ話の入口となる

今日もまた叶わぬ夢が星になり果てない海を優しく照らす
 はじめての大会敗れ思い知る自分の強みと自分の弱さ

何よりも心を充電してくれるこたつを囲む変わらぬ顔ぶれ
 二年かけ手入れし伸ばし断髪す寄付の向こうの笑顔折りつつ
 高く飛ぶ鳥に教わり腕広げ駆け出し知った心地良い風
 大晦日色んな番組見たいから今日は私がリモコン奉行
 身長差厚底履いて埋めるけど帰る頃には棒になる足
 漠然と夢を描いたこの気持ちチェーンの外れたペダルを踏むよう

夕暮れに君を重ねて見た日からあまたひまわり心に咲いた

冬桜薄墨の空に凜と咲くイルミネーションに主役譲って

母は言うずっとあなたを支えるよ今はわたしがいつてあげたい

花が咲く夏の夜空に堂々と彼らみたいになれたらなあ
 文化祭今年の仮装がんこちゃん全身ピンク視線が痛い

坂道を登った先の暗やみに星がきれいとおあなたが言った
 交差点信号全部青になり会いに行きなと押された背中

立ち漕ぎで坂上る友追いかける夕焼け色に滲んでく街

指揮棒が振り下ろされるその刹那始まる僕らの夏のコンクール
 インスタで雪降る街を掲げてみたスマホ越しに届け君へのダイスキ
 叶わぬと分かりながらも君想い追いかけて続けるラグビーボール
 空席がやけに気になる汽車の中君の隣はまだ空いたまま
 キズだらけこの参考書は兄のものの努力の塊私が受け継ぐ
 七変化くるくる変わる兄の髪成人式は何色になる
 深山に静かに響く弦の音心はやりて的を見るなり

霧の中眠気も覚める通学路漕いでも漕いでもトンネル続く
 大晦日半年ぶりに会う兄と交わす言葉の間のぎこちなさ

店員を呼んだその手に気づかれず一人虚しく頭かくふり

東京学館新潟高等学校

一年	永田 竜馬	ながた りょうま
一年	南部 輝	なんぶ ひかる
一年	野田 陽斗	のだ はると
一年	樋口 翔馬	ひぐち しょうま
一年	伏見 千畝	ふしみ ちうね
一年	松田 海優	まつだ みゆう
一年	三留 優介	みつとめ ゆうすけ
一年	柳澤 勇翔	やなぎさわ ゆうと
一年	渡辺 悟大	わたなべ ごだい
二年	佐藤 亜海	さとう あみ
三年	小林 ちひろ	こばやし ちひろ

新潟県立加茂農林高等学校

二年	伊藤 駿介	いとう しゅんすけ
----	-------	-----------

東京都立足立高等学校

一年	勝田 彩音	かつた あやね
----	-------	---------

東京都立府中高等学校

一年	三輪 さくら	みわ さくら
一年	山岸 海斗	やまぎし かいと

学習院女子高等科

一年	赤堀 実咲	あかぼり みさき
一年	石川 李津	いしかわ りづ
一年	長井 美幸	ながい みゆき
一年	弓木 郁奈	ゆみき あやな
二年	江崎 瑠璃	えざき るり
二年	笠原 美羽	かさらはら みう

東京電機大学高等学校

三年	松村 百香	まつむら ももか
----	-------	----------

カリタス女子高等学校

一年	森 美喜	もり みき
----	------	-------

愛知県立犬山高等学校

一年	伊藤 杏	いとう あん
----	------	--------

大阪府立市岡高等学校

二年	名古 有沙	なご ありさ
二年	南 ゆき奈	みなみ ゆきな

岡山県立玉島商業高等学校

一年	岡 菜月	おか なつき
一年	室坂 芽来	むろさか めぐ

山口県立徳山高等学校

一年	尾上 純玲	おのうえ すみれ
----	-------	----------

徳島県立脇町高等学校

二年	上野 光生	うえの こうき
二年	岡本 奈々	おかもと なな
二年	小川 雄大	おがわ ゆうた
二年	住友 千紘	すみとも ちひろ
二年	田中 佑季	たなか ゆき
二年	板東 愛桜	ばんどう まお
二年	正木 淳	まさき じゅん

福岡県立伝習館高等学校

一年	宮崎 渚彩	みやざき なぎさ
一年	山本 晶菜	やまもと あきな

鹿児島県立鹿児島工業高等学校

二年	中野 翔太	なかの しょうた
----	-------	----------